

CTS1120

張力設定器

CTS1120張力設定器は、CTP型パルスカウント張力コントローラに初期巻径、最大巻径、シート厚、及び設定張力を送信する専用設定器です。

CTP1200/3200に個別、または一斉に設定された各設定値を送信することができます。



① 特長

■個別、及び一括設定

CTS1120は、CTP1200/3200に個別、または一斉に設定された各設定値を送信して最大15台のCTP1200/3200を個別、及び一括設定することができます。

■デジタル表示

デジタル表示器には、アドレスとその設定値が表示されます。

'UP'ボタン、及び'SHIFT'ボタンでデジタル表示器のアドレスを変更すると、そのアドレスの設定値が表示されますので、設定値の確認が簡単にできます。

■省配線・省スペース化

CTS1120は3個の操作ボタンで初期巻径、最大巻径、シート厚、及び設定張力を設定できます。操作ボタンを3個としたので小型・軽量化でき、操作パネルに取り付けるスペースを小さくすることが可能です。

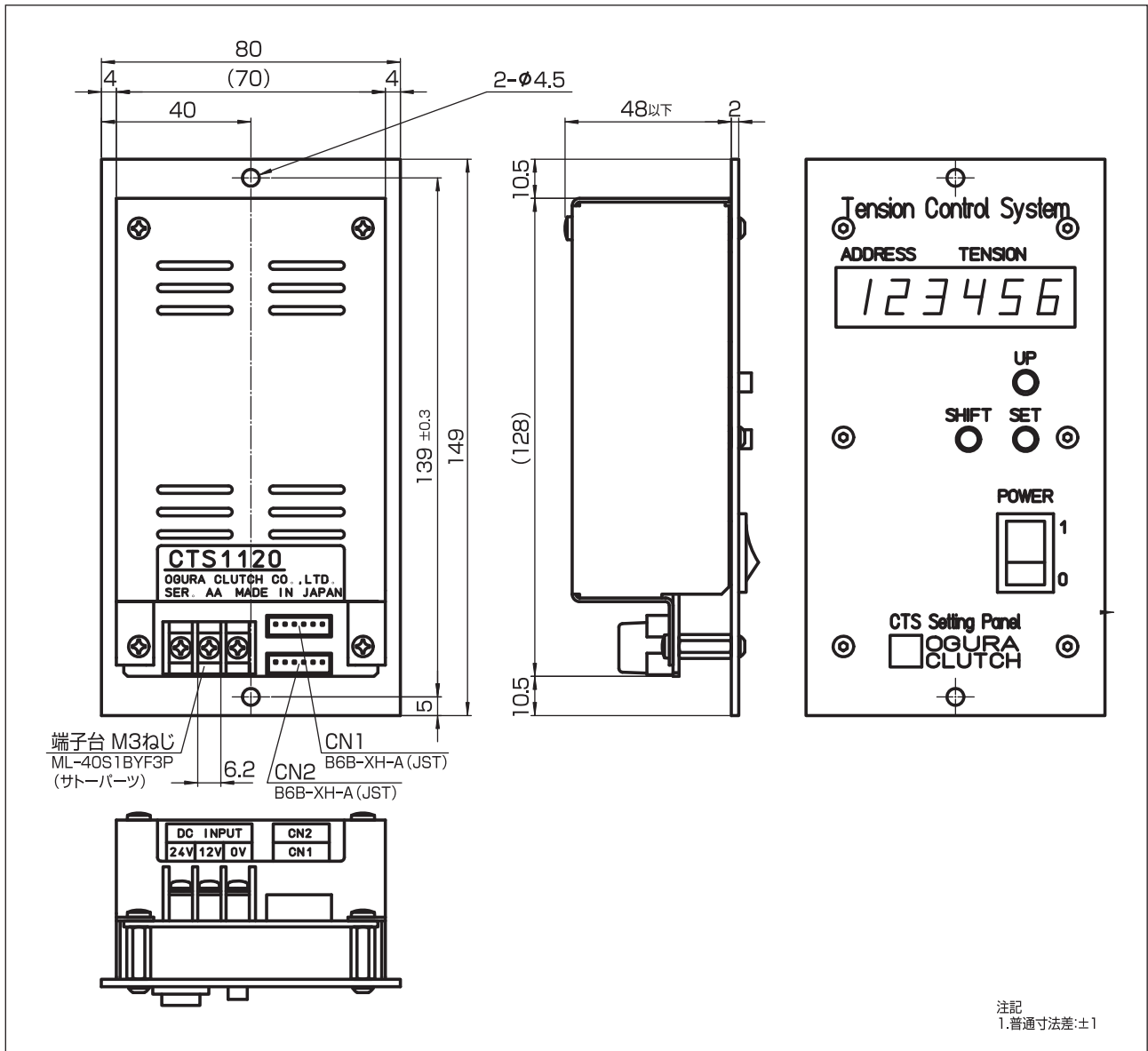
1台のCTS1120で複数台のCTP1200/3200をリモートコントロールできますので省配線が可能です。

② 仕様

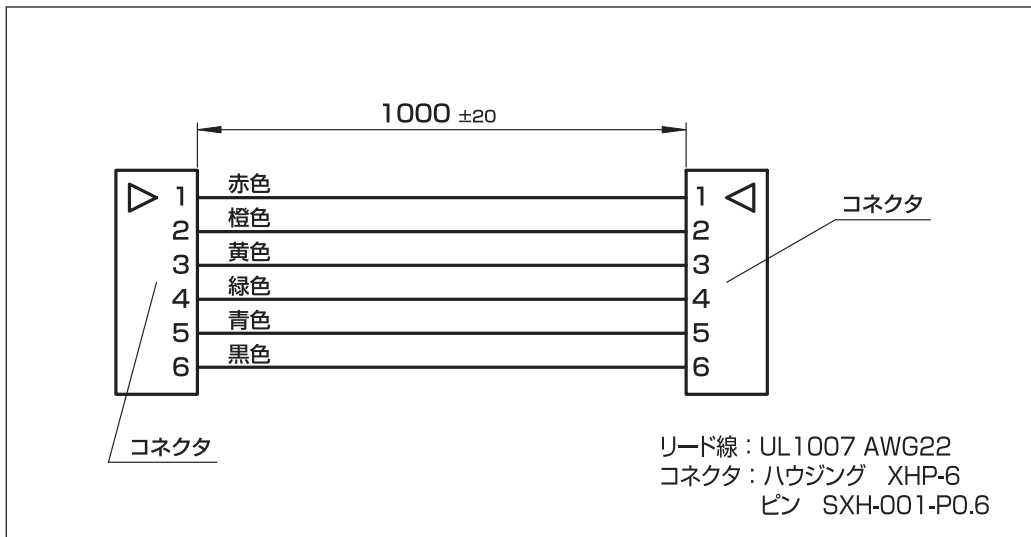
【CTS1120】

- 設定対象……………CTP1200/3200
 - ・15台までのCTP1200/3200を個別、及び一括設定可能
- 入力電圧……………DC24/12V(選択使用) 電圧変動が±0.1V以下 100mA以下
またはCTP1200/3200より供給
- 設定入力……………初期巻径:1~999mm(直径)
シート厚:1~999μm
設定張力:0~99.9%
最大巻径:1~999mm(直径)
- 質量……………250g以下
- 使用周囲温湿度……-10~60℃ 25~85%RH 結露無きこと
- 保存温湿度…………-20~85℃ 25~90%RH 結露無きこと
- 嵌合コネクタ……CN1、2 設定器ハーネス(付属品)を使用
- 付属品……………設定器ハーネス×1本

③ 寸法



■ 設定器ハーネス



4 動作

1. この張力設定器は、CTP1200/3200に初期巻径、最大巻径、シート厚、及び設定張力を送信する専用設定器です。
2. 入力電圧を印加すると一定時間デジタル表示器が'888888'を表示します。
この状態では内蔵の不揮発メモリから前回の設定値を読み込み、接続された全てのCTP1200/3200にその設定値を送信します。
3. その後、デジタル表示器にアドレス' 01'とその設定値を表示します。
4. デジタル表示器の'ADDRESS'には、設定・表示する項目を表示し、'TENSION'には、その項目の設定値を表示します。
5. デジタル表示器の'ADDRESS'表示は、1桁による設定・表示項目の識別コードと下2桁の発信アドレスに対応する数字で構成されます。
発信アドレスはCTP1200/3200のアドレス選択スイッチの設定値に相当します。
6. 'ADDRESS'の下2桁が'01'~'15'の状態を設定操作を行った場合は、この時の表示値と発信アドレスが一致するCTP1200/3200に設定値を送信する個別設定になります。
7. 'ADDRESS'の下2桁が'00'の状態を設定操作を行った場合には、接続された全てのCTP1200/3200について同じ値を設定する一括設定になります。

■デジタル表示器

ADDRESS	TENSION	
00	一括	設定張力 単位:%
01~ 15	個別	
d00	一括	初期巻径 単位:mm
d01~d15	個別	
t00	一括	シート厚 単位:μm
t01~t15	個別	
∩00	一括	最大巻径 単位:mm
∩01~∩15	個別	

■表示例

1. 発信アドレスが' 01'、設定張力が50.2%の場合

ADDRESS	TENSION
0 1	5 0 . 2

2. 発信アドレスが' 15'、初期巻径が300mmの場合

ADDRESS	TENSION
d 1 5	3 0 0

■設定値の表示

1. 'UP'ボタンを押して離すとデジタル表示器の'ADDRESS'表示が' 00'→'d00'→'t00'→'∩00'→' 01'→'d01'...∩15'→' 00'と変化し、'TENSION'にその設定値を表示します。
2. 'SHIFT'ボタンを押した状態で'UP'ボタンを押して離すとデジタル表示器の'ADDRESS'表示が'∩15'→'t15'→'d15'→' 15'→'∩14'→'t14'...∩00'→'∩15'と変化し、'TENSION'にその設定値を表示します。

■設定値の変更

1. 設定を変更したい項目がデジタル表示器の'ADDRESS'に表示されている状態で、'SET'ボタンを押して離すと、デジタル表示器の'TENSION'の特定の桁が点滅し、セットモードに入ります。
2. 'UP'ボタンを押して離すと点滅している桁の数字を+1します。
'9'の次は'0'になります。
3. 'SHIFT'ボタンを押しながら'UP'ボタンを押して離すと点滅している桁の数字を-1します。
'0'の次は'9'になります。
4. 'SHIFT'を押して離すと点滅する桁が1の桁→10の桁→100の桁→1の桁の順で切替わります。
5. 'UP'ボタンと'SHIFT'ボタンを使用して所望の設定値に合わせ、'SET'ボタンを押して離すと点滅が終了し、セットモードを抜けます。
ここで設定した値は内蔵の不揮発メモリに書き込まれ、電源をオフしても保存されます。
6. 設定張力のセットモードを抜けると、CTP1200/3200が設定張力を読み込みます。
7. CTP1200/3200のリセット入力を短絡して開放すると、CTP1200/3200が初期巻径、シート厚、及び最大巻径を読み込み、パルスカウント値をクリアします。

⑤ 使用上の注意

1. 電源を端子台から供給する場合は、市販のスイッチング電源等の安定化電源を使用して下さい。
当社製OTPF/H型クラッチ・ブレーキ用電源は安定化されていないので使用できません。
2. 初期巻径、最大巻径、及びシート厚の各設定値は、CTP1200/3200のリセット入力を短絡して開放すると設定されます。
3. 複数台のCTP1200/3200を接続する場合は、端子台からDC24VまたはDC12Vを供給して下さい。
4. 電源をCTP1200/3200から供給する場合は、POWERスイッチがオンの状態でCTP1200/3200の入力電圧を印加して下さい。
5. 電源を端子台から供給する場合は、POWERスイッチがオンの状態でCTP1200/3200と同時、またはCTS1120を先に入力電圧を印加して下さい。
6. CN1、CN2の各ピンは内部で並列に接続されていますので、同一仕様で使用できます。
7. 電源入力以外の入出力線は、誘導ノイズ等を防止するために、高圧線、動力線、交流線との平行配線や同一配線を避けて分離して下さい。
8. 絶縁抵抗、耐電圧試験は、内部素子を破損する恐れがありますので実施しないで下さい。